

地域活性化伝道師プロフィール		分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	◎	農・林・水産業	○
			地域医療、福祉・介護、教育		観光・交流	
			地域コミュニティ・集落再生		環境	○
			地域交通・情報通信		まちづくり	○
ふりがな		おかざき ひでと				
氏名		岡崎 英人				
所属	名称	Okapi Service				
	役職	代表				
連絡	住所	(公開)	〒 252-0131			
			東京都渋谷区笹塚1-53-7笹塚サンハイツ606			(職場)
	連絡先	(公開)	E-mail okazakihideto[アットマーク]gmail.com			
		(公開)	TEL 03-6383-3157	FAX 03-4496-4426		
連絡方法		E-Mailでお願いします				
略歴		<p>1976年4月 相模原市役所入所(2004年9月退職)</p> <p>1983年10月 自治省財政局調整室派遣(1年間)</p> <p>1997年4月 財団法人相模原市産業振興財団へ出向</p> <p>1999年4月 同財団事務局長就任。国のコーディネート活動支援事業を受け、 コーディネート活動を展開(新商品開発)。</p> <p>2001年4月 社団法人首都圏産業活性化協会(略称:TAMA 協会) 事務局長就任(現在に至る)。</p> <p>2003年9月 内閣府実施の「地域産業おこしに燃える人」に選出</p> <p>2004年1月 独立行政法人評価委員会中小企業基盤整備機構分科会臨時委員 (2007年1月退任)</p> <p>2005年1月 福島県いわき市産業振興アドバイザー就任</p> <p>2006年4月 内閣府地域再生本部実施の「地域活性化伝道師(全国)」に就任</p> <p>2006年7月 経済産業省産業構造審議会研究開発小委員会委員(2009年1月退任)</p> <p>2006年8月 第1回ニッポン新事業創出大賞支援部門優秀賞受賞</p> <p>2008年5月 八王子地域ものづくり活性化協議会委員</p> <p>2008年11月 山口内閣首相補佐官主催「地方の元気回復委員会」委員</p> <p>2008年11月 東京都都市機能活用型産業振興研究会委員</p> <p>2011年4月:JST(日本科学技術振興機構) イノベーションコーディネータ審査委員会委員</p> <p>2012年4月:元気青森応援隊就任</p> <p>2012年4月:中小企業政策審議会臨時委員</p> <p>2012年4月:文部科学省地域イノベーションプログラムディレクター就任</p> <p>2014年4月:JST ベンチャー大賞審査委員会委員</p> <p>2014年4月:内閣府沖縄科学技術大学院大学(OIST)あり方検討委員会委員</p>				

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

	<p>2015年11月:函館ものづくり産業アンバサダー就任</p> <p>2016年8月:神戸市海外ビジネスセンター・アドバイザー就任</p> <p>その他、国や自治体等の委員会委員等を多数歴任</p>		
著作・論文等	<p>2001年3月:企業診断「行政面から見た地域産業のコーディネート」</p> <p>2002年3月:企業診断「地域産業活性化のプラットフォームを目指して～TAMA協会の目指すもの～」</p> <p>2003年3月:企業診断「産学官連携のポイント～TAMAでの実践から～」</p>		
取組概要	<p>経済産業省実施の産業クラスター計画の推進機関として、広域多摩地域(埼玉県南西部・東京都多摩地区・神奈川県中央部=TAMA地域)が世界有数の環境に配慮したものづくりの新産業創出拠点となることを目標に掲げ、TAMAのポテンシャル(多数の優秀な中小企業や理工系大学の集積など)を活かして、産学官に金融を加えた人的ネットワークの構築・活用(TAMA協会には約150名の登録コーディネータがおります。)と企業の新事業創出活動を支援する施策の立案・実行を進めました。特に、日本の他地域との「広域的な連携」や、市場に大きなインパクトをもたらす研究開発・技術開発につなげるための「大手企業との連携」、市場として魅力がある中国を初めとしたアジア、中小企業が拘りを持ってものづくりをしているイタリア、イノベーションのつぼとも言われるシリコンバレーの展開に力を注ぎました。</p> <p>現在は、コンサルトとして意欲ある中小企業の戦略的事業展開や自治体・支援機関とタイアップして地域産業活性化のご支援をしております。</p>		
メッセージ	<p>地域の産業活性化は、地域を愛する人が可能にするものです。しかし、その実現にはノウハウがあり、そのノウハウを活用することで実現が早まります。今まで、数多くの地域において産学官の連携組織の立上げや地域イノベーション創出(=地域資源を有効に活用しながら地域産業活性化のため、従来に無い独創的な取組みをすること)のお手伝いをしてきました。今こそ、地域産業の活性化と一緒に考えてみませんか。</p>		
関連ホームページ	-	活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。